

令和 5 年 4 月

関係者各位

学校法人アイピーシー学園  
愛知ペット専門学校  
理事長学校長 牧 良

## 学校関係者評価報告書の公表について

このことにつきまして、令和 5 年 3 月 23 日付けの「学校関係者評価委員会」の報告書を別添の通りまとめました。ここに、「令和 4 年度自己評価及び学校関係者評価報告書」を公表いたします。今後は、学校関係者評価委員各位のご意見やご指導を真摯に受け止め、より良い教育活動、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和 4 年度  
「自己評価及び学校関係者評価報告書」

《作成日：令和 5 年 3 月 23 日》

学校法人 IPC学園

**愛知ペット専門学校**

## 1. 学校関係者評価委員会名簿

氏名	所属
岩本 英司	株式会社アイピーシー 営業部部長
宇野 哲安	有限会社宇野獣医科 院長
大槻 祐介	株式会社アイピーシー 事業管理部次長
山本 順子	株式会社アイピーシー ペットサロン doggies 店長
上 舞子	株式会社アイピーシー わんわん動物園主任補佐

## 2. 学校関係者評価委員会開催記録（概要）

令和5年3月23日（木）14:00～15:00

### 【議題（決定事項）】

1) 令和4年度 愛知ペット専門学校自己評価報告案について

【会議資料】資料1 令和4年度 愛知ペット専門学校 自己評価報告

### 【会議内容】

<開会の宣言>

（司会進行：平松）進行の挨拶、出席者の確認。参照資料の案内の後、開会を宣言。

<議事録・議事の概要>

（司会進行：平松）審議開始を宣言、発言の前にお名前を頂く旨を説明した。

<第1号議案の説明と審議>

（牧学校長）資料1の自己評価報告案について説明。

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学修成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生の受け入れ募集
- 8) 財務
- 9) 法令等の遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

上記項目の説明、自己評価に基づき、重点課題及び改善方策案について説明した。

（牧学校長）委員各位よりご指導ご意見を伺い、また質疑応答で異議なしとのことから、本報告案を報告することで決議した。

（司会進行：平松）閉会を宣言。

3. 【評価項目の自己評価結果、課題及び改善方策】（評価：適切 4、ほぼ適切 3、やや不適切 2、不適切 1）

(1) 教育理念・目標		評価
1	理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

【自己評価結果・課題及び改善方策】

「社会に貢献しうる有能な人材としてペットの専門家を育成することを目的とする。」という本校の教育目標に対し、各科の専門特性を基盤とした学科目標の明確化、学生への周知、保護者に向けた情報発信に努めている。特に、国家資格となった動物看護師資格については、在学生、保護者様、オープンキャンパス等で十分に説明が成された。来年度は、ペット業界全体のニーズの変化に敏感に反応できるよう、情報収集及び情報発信等を継続的にを行い、その内容が迅速に教育に反映できるよう柔軟な取り組み方で対応していく。

(2) 学校運営		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事・給与に関する制度は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【自己評価結果・課題及び改善方策】

学校の教育理念、授業内容、学生指導などについては、理事長直轄の定例会を毎週火曜日に定め、運営を進めている。教務・財務等については、保管書類のデータ化、申し込み手続き関係等のヒューマンエラーを防ぐことを目的に、簡素化および掲載内容の改善を図っている。今後も、報連相と確認の強化・向上を目標に職員間のコミュニケーションを継続する。

(3) 教育活動		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4

5	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定に基準は明確になっているか	4
10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	教員の能力開発のための研修等が行われているか	4

【自己評価結果・課題及び改善方策】

“社会人マナーを備え、即戦力で活躍できる人材の育成”を掲げ、関係企業様の“育成人材像”をより的確にカリキュラム等へ反映できるよう努めている。令和4年度は、実践的かつ人材育成に反映した授業・実習プログラムの取り組みとして、動物看護科担当講師の国家資格取得に向けての研修をはじめ、職員の授業運営を向上させるため、週1～2回の勉強会を開催するなど行った。専門的な内容を学生に理解させる説明や興味を持たせる話題など基本に戻って見直すきっかけとなった。来年度も、教員・学生ともに資質向上、充実化の取組として継続していく。

(4) 学修成果		評価
1	就職率の向上は図られているか	3
2	資格取得率の向上は図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

【自己評価結果・課題及び改善方策】

令和4年度は、就職希望者に対しR5年3月22日現在、内定率93%。昨対同時期より7%向上させることができた。未定者については、卒業後も継続してフォローしていき、5月1日には100%を収める。また、今年度は2名が進学した。新型コロナも5類に移行されることが決まり、行事の行い方も流行前に戻りつつあるので、学生一人に充てる時間を減少させることなく、年間計画を立て、学生へのフォロー体制を強化していく。

(5) 学生支援		評価
1	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4

3	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
4	学生の生活環境への支援は行われているか	4
5	保護者と適切に連携しているか	4
6	卒業生への支援体制はあるか	4
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
8	企業との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

【自己評価結果・課題及び改善方策】

学生支援については、概ね成されていると評価できる。全科対象で教育訓練給付金制度など経済的支援ができるよう整えた成果として社会人の入学生が 12%と増えた。学生自身の状況変化をより早期に把握できるよう、定期的な面談と個別の指導記録簿を活用し、フォロー体制を充実させる。

(6) 教育環境		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4

【自己評価結果・課題及び改善方策】

本校の新築移転に伴い、(株)アイピーシーからも実習棟を増築していただき、学内外とも十分に整備することができた。防災に対する体制整備として、毎年行っているわんわん動物園、NPC 高等学院との合同避難訓練を 10 月 5 日に実施した。今年度は、動物愛護法の改正に伴い、飼養動物がサークル飼育であるため、人の一時避難訓練終了後、クレートの組み立て班と動物の避難誘導班と 2 班体制で実施した。今後も引き続き、文科省、環境省あるいは岡崎市のガイドラインやマニュアルを参考にして疫病対策を含め学校防災の意識向上に努める。

(7) 学生の受け入れ募集		評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4

【自己評価結果・課題及び改善方策】

本校の魅力・教育目標等をさらに広く伝え、理解を得るために、パンフレットや募集要項、WEB 媒体等の刷新を試みている。教職員が一丸となって学生募集で提供する情報を共有し、特に体験入学会では、募集活動におけるスキルアップの研修を行うなど、万全な準備を整備して募集活動を実施している。また、各科の教育成果や教育目標等については、全教職員が入学を検討している学生や保護者様に具体的に伝えられるような努力を継続する。

(8) 財務		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4

4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
---	--------------------	---

【自己評価結果・課題及び改善方策】

学校の予算・収支計画は有効かつ妥当であり財務基盤も安定して問題がない。今後も継続して適正に実施していくが、施設・設備の充実のために財政基盤をより盤石にしていけるよう努力する。

(9) 法令等の遵守		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4

【自己評価結果・課題及び改善方策】

法令、専修学校設置基準等については常に最新の注意を払って適正に運営している。個人情報に関しては、不必要に写しを取らず、データ管理を推進し、引き続き第三者の閲覧、流出を予防するために工夫・徹底に努めていく。

(10) 社会貢献・地域貢献		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

【自己評価結果・課題及び改善方策】

“地域清掃”と称する活動を継続して社会貢献・地域貢献を行っている。学校施設周囲の道路・歩道のゴミ収集・路面清掃、関係施設周辺では岡崎市と連携した“イエローカード作戦”を通じた路上排泄犬糞の放置を防止するための活動を実施している。また、非公開ではあるが、TNR活動も行っている。今年度は、保護犬プログラムを開始し、1頭を里親に譲渡することができた。今後も、学生自ら提案したボランティア活動等の支援体制の整備や公開講座の開催・受託等を積極的に進めていく。

4. 学校関係者評価委員意見等および特記事項

- ・特に問題なく進められている、と一致したご意見をいただいた。

以上